



統計局統計調査部経済統計課動向統計企画係長

飯嶋 咲也

Iijima Sakuya

平成22年 4月 総務省採用
統計局統計情報システム課情報提供係
平成24年 4月 統計局統計調査部経済統計課研究分析係
平成26年 7月 統計局総務課国際第二係
平成27年 4月 統計局総務課国際第一係
平成28年 10月 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室審査発表第一係
平成29年 4月 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室統計専門職
令和 2年 4月 統計局統計調査部経済統計課
動向統計企画係長

世界を読み解くためのツール、統計

今、世の中で何が起きているのか？

現職ではサービス産業動向調査という月次の調査の企画実施を担当しています。調査の対象は、情報通信業や宿泊・飲食、医療・福祉など、幅広い産業の企業や事業所になります。調査事項は売上高と事業従事者数のみとコンパクトな調査ですが、毎月産業別にも結果を公表しており、GDPの四半期速報などに利用されています。

2020年は感染症拡大の影響で、サービス産業全体で一時売上高が大きく落ち込みましたが、その後徐々に回復傾向を示していることや、産業別の影響の大きさが目に見えて、改めて統計とは「今世の中で起きていること」を具体的に数値として把握するものなのだなと思いました。

また調査対象の方からは「調査回答どころではない」という切実なお声を頂戴することも……。そんな厳しい状況の中でも回答して下さる方のためにも、回答しやすい環境を整え、実情を正確に反映した統計となるよう努めなければならないと思っています。

統計分野は意外と国際派!?

統計局が実施する統計調査の対象は、基本的には日本国内に所在の方や企業・事業所になるのでドメスティックな印象があるかもしれませんが、実は国際的な仕事もいっぱい！ 国際比較可能性を高めるために統一的な手法や分類を検討したり、人口や物価、経済統計など、分野ごとの国際会議で各国からの出席者と意見を交換したり、国際協力の一環として研修講師や専門家として派遣される機会も。

私自身は、国際会議開催のために会場のホテルを走り回ったり、会議出席のためにニューヨークの国連本部やジュネーブのILO本部を訪問したりと、入省当初には思いもよらなかった経験をさせてもらいました。

日々の業務でも海外からの問合せメールに対応する機会や他国の統計機関のウェブサイトを閲覧する機会があり意外と国際派な統計部門ですが、希望者を対象に英語の研修が実施されるなどバックアップもばっちり。チャレンジしてみたい人、お待ちしております！

PRIVATE TIME

読書、映画、音楽とインドアな趣味が多めですが、気になるものは見てみたい！ やってみたい！ と突然バンジージャンプを跳んだり、斧を投げたり、古墳を見に行ったりもします。また、アマチュア合唱団（今は休止状態ですが）に所属しており、いろんな職業・バックグラウンドの友人たちと歌っています。楽しい！

WEEK SCHEDULE

MONDAY

各種照会の締切りなど今週の予定を確認して業務スタート！

TUESDAY

調査委託先と打合せ。調査業務の進捗や回収状況を確認します。

WEDNESDAY

定時退庁日。少し急いで仕事を片付けて合唱団の練習へ。

THURSDAY

照会の回答をとりまとめたり、新たな照会を関係先にかけたり。

FRIDAY

今週の業務を片付けて、颯爽と退庁（できたらいいな）。

